



**今月の予定**  
 3日(金) ひな祭  
 9日(木) お誕生祝膳  
 21日(火) 春分の日

梅光苑  
**梅のさと便り**  
**3月号**

**No. 397 R5. 3. 1**  
**梅光苑 文芸部**

**会いたい人に会える日を**  
**～面会再開に向けて～**



新型コロナウイルス感染症対策として、これまで、ご利用者との面会を「タブレット」や「窓越し面会」に限定するなど、大幅な制限を行ってきました。しかし、高齢者の9割以上がワクチン接種を終え、全国的に高齢者施設でのクラスターも減少していることから、このほど厚生労働省では、ワクチン接種など感染対策を徹底した上で、対面での「面会再開」の検討を各高齢者施設に求める方針を発表しました。

このような状況を踏まえ、当苑としても「面会再開」に向けてどのような方法・手法があるのか、検討を重ねているところです。

ご利用者のご家族が面会をすることは、「生きがい」や「喜び」を感じて頂けるなど、QOL（生活の質）に大きな影響を与えます。施設側としても、緊張感を持ったご利用者への介護・お世話にも繋がり、ケアの質の向上にもなります。

「会いたい人に会える日」が日常の「当たり前」となるよう、今後段階的ではありますが、できるだけ早く「面会再開」に向けて苑全体で取り組んでいきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**再開後 の施設 職員と入居者家族の声**

<p><b>入居者家族</b></p> <p>面会で訪問すると施設の雰囲気も伝わる</p> <p>コロナ禍のため、こしはらくは家族の顔を見て会話ができなかったのが、面会が再開されて、とてもうれしかったです。喜ぶ姿と、施設の雰囲気もわかるのも良かったですね。</p>	<p><b>入居者</b></p> <p>自分の目で家族の元気な姿を確認</p> <p>今回、対面で15分程度面会することができました。家族が健康で元気である姿を、自分の目で確認できるのはありがたいですね。</p>	<p><b>利用事務の</b></p> <p>度、スクリーンが、目の色。</p>
--	---	--

**「鬼は外、福は内」と**  
**大きな掛け声がホールいっぱいに響き渡りました**

今年も節分の豆まきを、利用者様とともに行いました。豆をまいて季節の変わり目の邪気をはらい、福を内に取り込んで、入所者様全員の無病息災、ご長寿を願いました。

今年も、コロナ鬼にふんした職員の赤鬼、青鬼に向かって、ご利用者は思いっきり豆をまいていらっしゃいました。最後には鬼たちも退散、大盛り上がりのもと終了しました。



**梅光苑の梅の花も満開です**

春らしい日差しが感じられるようになった二月末、ご利用者と梅見を行いました。梅光苑デイサービスセンター前の梅の木前でご利用者と記念写真を撮りました。この梅の木は、昭和50年の開苑当時に植えられたもので、樹齢は40年以上です。この間、毎年、花を咲かせてきました。ご利用者からは、「今年は花がいっぱい咲いちゃう」「梅の実もたくさんなるといいね」と笑顔で話していました。



**かわばた邸 3月のイベント情報**

**毎週** 水曜日 10:00～12:00 百歳体操 (元気いきいきひろば)  
 金曜日 13:30～15:30 百歳体操 (元気いきいきひろば)  
**春に向けてしっかり動ける身体をつくっていきましょう**

**11日(土) 13:30～15:30 カフェかわばた 参加費100円**  
**二胡の演奏会 大門様の素敵な演奏をご一緒に楽しみましょう**  
**13日(土) 13:30～15:30 カフェかわばた 参加費100円**  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。ご確認ください。



# 「ほっこり 温かくなるお話」

## 特別養護老人ホーム梅光苑

外国人技能実習生として、実習期間(三年間)を終えたウィディさん。

この度、梅光苑を退職して、「ひとつの会」のグループホームで働くことになりました。

先月、入籍を済ませた「ひとつの会」で働くドニさんともに、これからの二人の夢について語ってもらいました。

二人は、インドネシアの日本語学校で知り合いました。アニメを通して日本に興味を持ち、お互いの夢を叶えるため日本へとやって来ました。

ウィディさん、ドニさんは、「インドネシアでバイクの整備工場を始める」ことを人生の最大の夢・目標として介護の仕事に汗を流しています。

ウィディさんは、介護の仕事を一生懸命頑張り、三年間で、両親への「家のプレゼント」を実現させました。

「あと三年、ひとつの会で働いて、国に帰ったら二人の夢のマイホームを建てたい。そして、子どもにも恵まれたら最高に幸せ」と、二人は、とびっきりの笑顔で話してくれました。

## グループホーム 希望の里

ご利用者様と毎日接していると「喜怒哀楽」が見えてきます。それでもご利用者様は職員全員に絶大な信頼を持って頂いています。毎朝の挨拶や帰宅前の挨拶を行うと「また、よろしくね」とおっしゃって下さいます。「あなたと一緒に居たら安心する」と温かい言葉をかけて下さる方もおられます。

また個人的な事ですが、先日インドネシアの実習生から誕生日祝いのメールが届きました。1期生とは最初の1年目しか接する事が無かったのですが、誕生日を覚えていてくれた事がとても嬉しかったです。今年で50歳になりましたが、これまでで一番の誕生日となりました。

お互いの気持ちが通じ合うために一言がとても大切であること、最近感じた温かなつながりです。

## デイサービス

ご利用者さんと話をしていると「ほっこり 温かくなる」のは、感謝の言葉を頂いた時ではないでしょうか。

「ありがとう」と声をかけて頂くと『この仕事をして良かった』と思います。

ご利用者さんの中には、「足が悪くてもデイサービスに来るときは動くよ」また「デイサービスに来るのが楽しみ」「食事が美味しい」と言われる方もおられます。

これからもご利用者さんの心が温まるようサービス提供をしていきたいと思っております。

## 訪問介護

ご利用者様と話をしていると、花のつぼみがふくらんだ様子を見て、「もうすぐ春だね。花が咲いたら花見にいきたいな。何を持って行って食べようかな」など楽しそうに想像を膨らませておられました。

そのお話を聞きながら笑顔のお姿に、ほっこり温かい気持ちになりました。

## グループホーム 陶ヶ岳

陶ヶ岳には今、インドネシアからの技能実習生が2人来ています。

いつも笑顔で明るく、ご利用者の方たちとも毎日楽しく過ごしています。ご利用者も遠い国から来た2人を気遣って声をかけてくれたり、2人の名前を何度も聞いて覚えようとされたり、また、技能実習生の2人も、利用者の方達から日本語を教してもらいながら、一生懸命仕事をしています。

本当にお互いに支え合っている関係性を感じて、見ていてほっこりとした気持ちになっています。

## 居宅介護支援事業所

2月中旬から梅光苑地域サポートセンターに入職しました中島雅人と申します。

慣れない仕事や環境に戸惑う事がありますが、サポートセンターの職員、全員が気遣って、優しく丁寧に声をかけてくださったり、わかりやすく教えてくださいます。

担当の利用者の方に対しても、親身になって相談などの対応をされているのがよくわかります。

自分も先輩方を見習って、利用者の方に適したサービスを提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 梅の里 かわばた邸 (地域連携室)

かわばた邸は天井の高い昔ながらの日本家屋で、冷えた朝は屋内の気温が5度以下になります。暖房を入れてもなかなか暖まりませんが、人が集まってこられるとそのエネルギーでどんどん暖かくなります。

みなさん、着いたところからとってもにぎやかです。元気に出かけてきて顔が見れること、おしゃべりが出来るのが嬉しいと言われます。

「かわばた邸があって良かった、ここしか出かけるところはないね。」という声も聞こえてきます。

「今日は、〇〇さんおらんね。どうしたんかね。」と気遣われたり、「最近元気がないようなけど大丈夫」と声をかけたりと、みなさんの温かな言葉や思いやりの気持ちが大きく広がって、室温までも上昇させるパワーを生み出しています。

人と人のつながりは、生きる力の源だと感じる毎日です。

かわばた邸で、元気エネルギーをもらって人の温かさを感じてみませんか。みんなでお待ちしています。